

2019 ベルマーク版 「教育応援隊」に 応募しませんか

子どもたちに感動・体験を！

2019年度
四つの
「教育応援隊」
があります

ベルマーク版

「オーサー・ビジット」



本の作者が学校へ！

◇ 詳しくは、5月中旬に掲載予定の朝日新聞特集面、またはウェブサイト「好書好日」(<https://book.asahi.com/>)の記事をご覧ください。

【授業】 1～2時間程度です。各界で活躍する本の作者（オーサー）が全国の小・中・高校に出かけ（ビジット）、とっておきの授業を展開します。学校の希望日時とオーサーの日程を調整し、9～12月の授業のある日に開催します。全校児童・生徒、あるいは学年単位などを対象にした授業も可能です。

【応募方法】 3人のオーサーの中から訪問してほしい1人を選びます。聞きたいこと、学校の自慢などを市販の色紙（約25cm四方）に自由に寄せ書きし、裏に①希望のオーサー名 ②どんな授業をしてほしいか ③学校名、郵便番号・住所・電話・ファクス番号、校長名、全校の児童・生徒数 ④授業を受ける学年別・男女別の児童・生徒数 ⑤訪問希望日時（第3希望まで）⑥担当者の連絡先（名前、電話番号、メールアドレス）⑦ベルマークPTA番号を書いて送ってください。⑧今年度のオーサー以外で学校に来てほしいオーサーがいればご記入下さい。今後の参考にします。

ウェブサイト「好書好日」(<https://book.asahi.com/>)から記入用紙をダウンロードできますので、それに書き込んで色紙の裏に貼っていただくと便利です。

訪問校にはオーサー訪問後、新聞紙面用に色紙作成中の写真など

尾木直樹さん、宮西達也さん、柳家さん喬さんの3人を予定しています（写真左から50音順）

の提供をお願いする場合があります。

【色紙送り先】〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-12-3
J P I C (出版文化産業振興財団)
オーサー・ビジット事務局ベルマーク係

【締切】 7月2日（火）必着

【訪問校決定】 応募された色紙の中からオーサー本人が1校を選びます。訪問先の担当者に連絡が行きますが、結果の問い合わせはご遠慮ください。

【費用】 訪問校に決まったら、ベルマーク預金から3万円（消費税別途2,160円）を支払っていただきます。うち5千円分は書籍代になります。書籍は協力会社・日教販からの購入です。「オーサー・ビジット」の注文書をベルマーク財団に送ってください。応募は無料です。

【授業や応募についての問い合わせ先】

J P I C = 電話：03-5211-7282（10:00～17:00

土・日・祝日を除く）

FAX：03-5211-7285

E-mail：author@jpjc.or.jp

Author Profile



尾木直樹
(教育評論家)

おぎ・なおき 1947年滋賀県生まれ。中学、高校の国語教師を22年間務めた後、法政大学教授など、大学教員に転身して22年教壇に立つ。臨床教育研究所「虹」所長としても教育・子育てに関する調査・研究、評論活動を続ける。「尾木ママ」の愛称で親しまれ、テレビなど多方面で活躍中。「取り残される日本の教育—わが子のために親が知っておくべきこと」(講談社+α新書)など著書多数。



宮西達也
(絵本作家)

みやにし・たつや 1956年静岡県生まれ。『きょうはなんてうんがいいだろう』で講談社出版文化賞絵本賞、『ふしぎなキャンディーやさん』で日本絵本賞読者賞。『おまえうまそうだな』は劇場アニメ化も。2015～16年にかけて全国8カ所で開催した作品展「宮西達也 ワンダーランド展」(朝日新聞社など主催)には約14万人が訪れた。他に『おとうさんはウルトラマン』など。



柳家さん喬
(落語家)

やなぎや・さんきょう 1948年東京都生まれ。1967年、五代目柳家小さんに入門、柳家小稲を名乗る。72年二ツ目昇進、柳家さん喬と改名。81年真打ち昇進。米国など海外でも落語を指導し、2014年に国際交流基金賞。人情噺の妙手として知られ、芸歴50年を超えた今年も700回以上、高座に上がる。落語協会常任理事。著書に『噺家の卵 煮ても焼いても』『柳家さん喬 大人の落語』など。

ミズノ・スポーツ教室

「走り方」「サッカー」



【対象校】小・中学校。「走り方」「サッカー」合わせて10校で開催。

【内容】2時間程度で、実技を中心に指導します。派遣するコーチの数や実施回数は、参加児童・生徒数などに応じて、学校と相談して決めます。

【開催時期】基本的には、9月以降の開催です。それ以前の開催を希望する場合などは、ミズノ・ベルマーク担当にご相談ください。

【応募方法】HPにある申込書に学校名、PTA番号、学校の住所、校長名・担当者名、児童・生徒数、希望競技、実施希望日などの必要事項を記入し、郵送またはファクスで申し込んでください。

【開催校決定】原則として受付順に、ミズノの担当者が学校と調整して決定します。日程や条件などで調整がつかないときは、開催できない場合もあります。

【費用】開催が決まったら、ベルマーク預金から3万円（消費税別途2,160円）を支払っていただきます。「ミズノ・スポーツ教室」注文書をベルマーク財団に送ってください。3万円＋消費税を除く必要経費はベルマーク財団が負担してミズノに支払います。

【問い合わせ先】授業内容などは、ミズノ・ベルマーク担当の渡辺市子さん（フリーダイヤル0120-140-336）へ。

シャンティ国際ボランティア会

「絵本を届ける運動」



シャンティ国際ボランティア会（SVA）は、アジアの子どもたちへの「絵本を届ける運動」を1999年に始め、カンボジアやラオス、ミャンマー難民キャンプ、アフガニスタンなどに、現地語の翻訳シールを貼った絵本をこれまで計27万冊贈ってきました。ベルマーク財団も2000年からこの運動を支援しています。詳細はSVAホームページの「絵本を届ける運動」（<http://sva.or.jp/ehon/>）で紹介しています。

【内容】絵本と翻訳シールなどのセットがSVAから届きます。説明書に従って絵本をつくります。作業は1時間ほどです。シールを貼り終えた絵本を宅配便などでSVAに返送します。

【対象校】中学校と高校の計20校。1校あたり25セットで10月末までに完成させてSVAに返送できることが条件になります。

【応募方法】HPにある参加申込書に学校名、PTA番号、学校の住所、校長名、生徒数、電話番号、実施目的、実施予定日、絵本の種類（どの国・地域向けを希望するかなど）を記入し、学校長印を押して郵送してください。「絵本セット送付希望書」の記入も必要です。申し込み時期によっては、セット内容の希望に応じられないこともあります。

【費用】「絵本とシール」の1セットは2,500円ですが、ベルマーク運動登録校が参加する場合は、ベルマーク財団が全額負担します。

◇出来上がった絵本は、シャンティ国際ボランティア会東京事務所へ自己負担で返送していただきます。

【問い合わせ先】ベルマーク財団（03-5148-7255）

応募方法

【送り先】〒104-0045 東京都中央区築地5-4-18
汐留イーストサイドビル7階 ベルマーク教育助成財団
「ミズノ・スポーツ教室係」または「絵本を届ける運動係」
FAX：03-5148-7256

【締切】6月28日（金）必着。ただし、いずれも実施校数に達した時点で締め切ります。

【ベルマーク財団ホームページ】<http://www.bellmark.or.jp/>
（「ダウンロード」から各種申込書が入手できます）

「防災科学教室」



日本列島では最近、豪雨・土砂災害・豪雪・雪崩・火山噴火など、様々な災害が発生しています。昨年は西日本豪雨、北海道胆振東部地震などで大きな被害が出ました。また、東日本大震災級の被害も想定される南海トラフ巨大地震も迫っているとされ、様々な備えが求められています。

国立研究開発法人・防災科学技術研究所の研究者が講師を務め、身近な自然災害に備えるための防災科学教室を2019年度も開催いたします。費用は無料です。

【対象】幼稚園（保護者）・小・中・高校、特別支援学校など、いずれも応相談。全体で10校程度。

【実施時期と内容】9月～3月で、1回2時間程度。授業内容や派遣する先生については、ご要望に応じて相談の上決めます。災害発生のメカニズムや予測の方法、日頃からの必要な備え、災害が起きた場合の避難や危険回避の方法等について、科学実験も交えながら楽しく学びましょう。

【応募方法と締切】HPにある申込書に必要事項を記入し、郵送またはファクスで申し込んでください。応募の締め切りは6月28日（金）。その後、講師のスケジュール等と調整したうえで実施日と実施校を決めます。

【問い合わせ先】ベルマーク教育助成財団「防災科学教室係」
（03-5148-7255）



公益財団法人 ベルマーク教育助成財団

<http://www.bellmark.or.jp>